



Weekly Report



第2246例会 2018年11月28日 国際ロータリー第2580地区

東京武蔵村山RC
第47代クラブ会長
倉内 淳

2018~19年度RI会長 バリー・ラシン 第2580地区ガバナー 松坂 順一 (東京葛飾東RC)

東京武蔵村山RC テーマ

『親睦・研修・実践』 基本に立ち返り、素晴らしいロータリーライフを!

本日の例会

卓話「R財団」
野島 征 会員

2018~19年度RIテーマ



次回の例会

全員クラブ協議会

【第2245回例会週報】2018年11月21日(水)

司会 酒寄 好夫 会場運営委員長

点鐘 倉内 淳 会長

斉唱

我等の生業
ソングリーダー
新海 正人 会員



出席報告

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
34名	27名	93.55%	なし

- 事前メーキャップ
金井 一三 会員 (青少年奉仕委員会)
野島 征 会員 (東京東大和RC)
- 榎本 昭 会員 波多野 稔 会員
原田 友義 会員

会務報告 倉内 淳 会長

- 比留間孝司会員に「第2580地区2019学年度公益財団法人ロータリー米山記念奨学生選考の面接官」委嘱状が届いております。
- 地区大会人頭分担金納入のお願いが届いております。
- 2019年規定審議会の立法案集が国際ロータリーウェブサイトに掲載されました。
- 2019年国際ロータリー年次大会(ハンブルグ大会)参加旅行募集のご案内が届いております。

会務報告続き...

- 地区青少年奉仕委員会アンケート(地区内実態調査)のお願いが届いております。
・アンケート回答期限12/14
回答はEメールのみ受付
- 青少年奉仕情報第32号が届いております。
- 地区米山奨学委員会と懇親会のご案内
・日時:12月13日(木) 13時~
・会場:ガバナー事務所 地区会議室
- 地区青少年交換委員会主催「懇親会」のご案内
・日時:12月23日(日)
・会場:学士会館210号室 *ㄨ切12/7
- 今年度・次年度合同 地区米山奨学委員会のご案内
・日時:1月24日(木) 13時~
・会場:ガバナー事務所 地下会議室
- ハイライトよねやま224号が届いております。
- 第11回全国RYLA研究会のご案内
・日時:2019/2/3(日) 受付開始9:30~
・場所:神戸商工会議所 神商ホール
・登録料10,000円 *ㄨ切11/29
- 第9回RYLA委員会及び忘年会
＜委員会＞
・日時:12/6(木) 17:00~
・場所:ルノアール四谷 3階A
＜忘年会＞
・日時:12/6(木) 19:00~
・場所:L Y L A (ライラ)
・会費:13,000円程度
- ガバナー月信1月号掲載、当クラブIMの実施報告書原稿依頼が届いております。



- 多摩分区 会長・幹事忘年会のご案内
- ・日時：12月22日（土）18:30より
- ・場所：立川すえひろ
- ・会費：10,000円



委員会報告

○藤野 豊 ガバナー補佐・宮崎 茂夫 分区幹事



・14日IM開催にあたり御礼のご挨拶がございました。

○田中 伸彦 国際奉仕委員長



・世界大会への参加依頼（藤野会員、波多野晃夫会員参加予定）

○新海 正人 米山奨学委員



・来週より寄付用の袋を用意しますので、ご協力をお願いします。



比留間 孝司 会員へ
第2580地区2019学年度
「公益財団法人ロータリー
米山記念奨学生選考面接
官」委嘱状の授与



ニコニコBOX (宮崎 正巳 親睦委員)

- * 藤野豊ガバナー補佐・宮崎茂夫分区幹事⇒14日のIM開催にあたり倉内会長、野島IM実行委員長並びに会員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。
- * 野島征IM実行委員長⇒11/14IMでは大変お世話になりました。皆様のお力を得て無事大役を果たす事が出来ました。有難度うございました。
- * 倉内淳会長・比留間一義幹事⇒先日のIMは皆様のお陰で大成功に終わりました。ありがとうございました。

◆ 今回計 25,000円 累計 460,000円

「米山月間に因んで」



比留間 孝司 地区米山奨学委員長

- ・米山奨学事業とは、日本で学ぶ外国籍の私費留学生を支援して、将来日本と世界の架け橋となるような人材の育成を図る奨学金事業。
- ・現在でも国内で民間最大の国際奨学金事業。
- ・世話クラブ、カウンセラー制度があることが最大の特徴。
- ・地区米山奨学委員会は、事業主体である公益財団法人ロータリー米山記念奨学会と地区内のクラブ、ロータリアンとの間に立ち、事務方として事業を支える立場

・具体的作業

- ① 地区内の奨学生の選考、採用
- ② 事業の理解推進
- ③ 寄付金の増進

1.奨学生の選考と採用

- ・事前の寄付金実績にもとづき、奨学会がその年度の奨学生採用数を決定。
→本年度地区割当35名
- ・基本的に地区内の大学から指定校を定め、指導教官の推薦を受けて選考試験となる。
- ・奨学会の選考基準に加え、当地区の選考基準も踏まえ奨学生の採用を図る。

2.事業の理解推進

- ・奨学生、指導教官をはじめとする大学関係者、ロータリアン、の三者コミュニケーションで事業が円滑かつ有意義に進むよう動いている。
- ・奨学生とロータリアンの個別のふれ合いの蓄積に勝るものはない。

3.寄付金の増進

- ・ロータリアンの送金する寄付金によって支えられている。
- ・今年度は特に特別寄付金の増進に力を入れている。これは、個人、法人、クラブのいずれから任意に、そして金額も問わず随時送金できる
- ・特別寄付者の増加は、当地区割り当て奨学生採用の増加に繋がる。
- ・当地区の特別寄付者割合は全国34地区で下位

皆様のご理解とご協力を頂くことで米山奨学事業は成り立っておりますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。